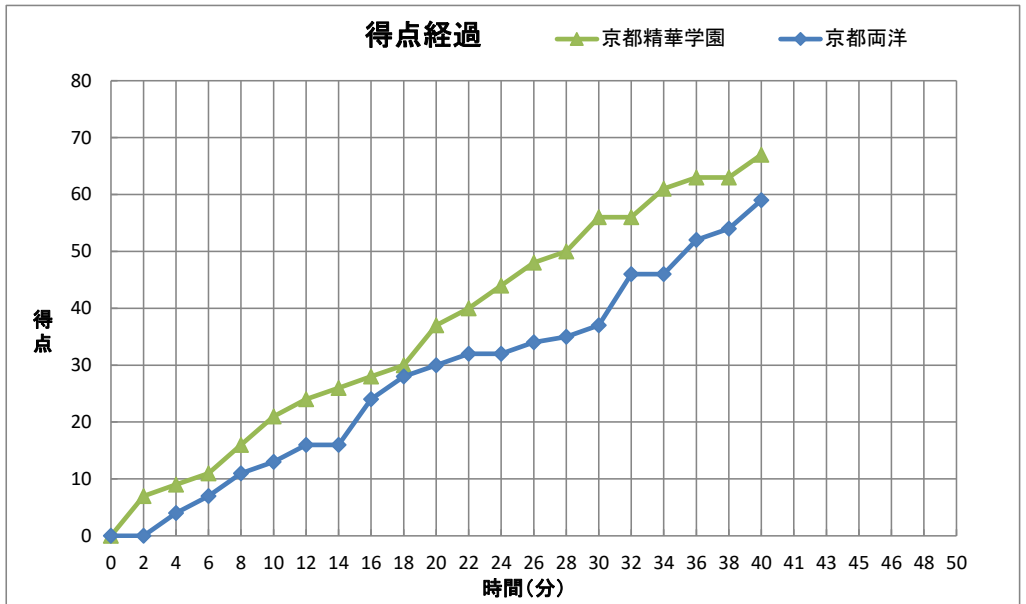




第44回京都府高等学校バスケットボール選手権大会 兼
第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会 京都府予選

個人トータル表

女子		11月4日		12:50 開始														
決勝リーグ		島津アリーナ京都		Mコート														
◎ 京都精華学園 67		<table border="1"> <tr><td>21</td><td>1st</td><td>13</td></tr> <tr><td>16</td><td>2nd</td><td>17</td></tr> <tr><td>19</td><td>3rd</td><td>7</td></tr> <tr><td>11</td><td>4th</td><td>22</td></tr> </table>		21	1st	13	16	2nd	17	19	3rd	7	11	4th	22	59		京都両洋
21	1st	13																
16	2nd	17																
19	3rd	7																
11	4th	22																
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則					
* 4	林 咲良	9	1	2	2	1	1	ユヌス カオウラ ガルツチフェ	0	0	0	0	0					
* 5	橋本 芽依	15	2	1	7	3	2	杉山 心月	19	4	2	3	4					
* 6	桃井 優	6	0	3	0	3	5	高原 綾乙	3	1	0	0	4					
7	大久保 舞奈美	-	-	-	-	-	* 7	木谷 夢菜	4	0	2	0	5					
8	山田 優利亜	-	-	-	-	-	8	谷口 心綾	2	0	1	0	1					
9	高山 留里那	-	-	-	-	-	* 9	岡田 綾葉	12	2	3	0	4					
10	石井 日菜	0	0	0	0	0	* 14	ピクトリア ウビ オコイ	6	0	3	0	3					
11	吉田 ひかり	-	-	-	-	-	17	大西 凜子	0	0	0	0	0					
12	谷 彩南	3	1	0	0	2	18	中野 有佳子	1	0	0	1	0					
13	満生 小珀	6	0	2	2	3	24	中島 芯	-	-	-	-	-					
14	金谷 悠加	0	0	0	0	1	26	藤田 瑞木	-	-	-	-	-					
15	ンガルラ ムクナ リヤ	4	0	2	0	1	30	古川 光鈴	-	-	-	-	-					
* 16	石渡 セリーナ	2	0	1	0	1	* 69	廣浦 杏	11	1	2	4	4					
17	坂口 美果	2	0	1	0	0	* 77	林 英美	1	0	0	1	3					
* 18	ユサフ ボラン	20	0	5	10	3	83	稲葉 明花	-	-	-	-	-					
コーチ	山本 綱義					0	コーチ	吉田 聡					0					
Aコーチ	豊田 薫						Aコーチ	甲良 泰明										
合計		67	4	17	21	18	合計		59	8	13	9	28					
主審: 富島 健司 副審: 山下 大輔 副審: 小柿 茉智子																		



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	15:28	30:40				
TeamB		22:37	36:36	38:20		

〔戦評〕
 ウィンターカップ京都府予選 決勝リーグ最終戦 京都精華学園対京都両洋の対戦
 第1Q 両チームオールコートマンツーマンでスタート。京都精華学園は#18のゴール下シュートで先制し、#5のドライブインで加点する。京都両洋は厳しいディフェンスの前になかなか得点ができなかったが、残り6分、#2が1on1から初得点を決める。さらに#9の3P、#8の1on1で加点する。京都精華学園は#18、#15インサイド陣で着実に加点し、京都精華学園21-13京都両洋で第1Q終了。
 第2Q 京都両洋が出だし#5が3Pを決めるが、京都精華学園もすぐに#5の3Pで加点する。その後は膠着状態が続くが、京都両洋の#2が3Pを決める。京都精華学園は残り4分、タイムアウトを請求し立て直しを図るが、京都両洋が#2の3P、#18の1on1で同点に追いつく。しかし終了間際に京都精華学園#4の1on1、#13が速攻で加点し37-30京都精華学園リードで前半を折り返す。
 第3Q 開始早々、京都精華学園が#12の3P、#6の速攻で加点したところで、京都両洋はタイムアウトを請求。タイムアウト後も京都精華学園は#4、#6が1on1、速攻で怒涛の攻撃を見せる。京都両洋は#7の1on1で加点するも京都精華学園の厳しいディフェンスになかなかリズムが掴めない。京都精華学園56-37京都両洋で第3Q終了。
 第4Q 京都両洋はデザインしたプレイで#9が3Pを決め、立て続けに#2が3Pを決めたところで京都精華学園はタイムアウトを請求。その後は一進一退の攻防が続く、京都両洋は#14のリバウンドから加点し、徐々に点差を縮める。京都精華学園はターンオーバーから加点されたところでたまたまタイムアウトを請求。京都両洋の厳しいディフェンスにも落ち着いてゲームを進めた京都精華学園が67-59で勝利をおさめWC予選優勝に輝いた。